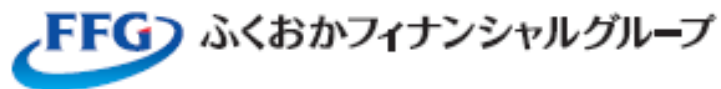


あなたのいちばんに。



個人投資家向け 会社説明会

ふくおかフィナンシャルグループ

2021年9月22日

東証第1部・福証上場
証券コード：8354

目次

1.株主還元	P 2～7
2.F F Gの概要	P 8～11
3.F F Gの強み	P 12～15
4.F F Gの成長戦略	P 16～22
5.トピック	P 23～25
参考資料	P 26～29

1.株主還元

〔配当目安テーブル※〕

連結当期純利益	1株あたり 年間配当金目安	配当性向
600億円以上	115円～	～37%
550億円以上～	105円～	33～36%
500億円以上～	95円～	33～36%
450億円以上～	85円～	32～36%
400億円以上～	75円～	32～36%
350億円以上～	65円～	31～36%
～省略～		
150億円未満	35円～	45%～

- **1株あたり配当金**
年間95円〔2021年度計画〕
- **配当性向35%**

※事業展開やリスク環境等により変更することがあります

FFG株
予想
配当利回り

4.5%
(※1)

東証一部
株式
平均利回り

1.9%
(※2)

日本国債
10年もの
利回り

0.05%
(※3)

● 高水準の配当利回り
(日本国債の90倍)

(※1) 2021年9月8日終値2,096円、2021年月期年間配当計画95円を基に算出

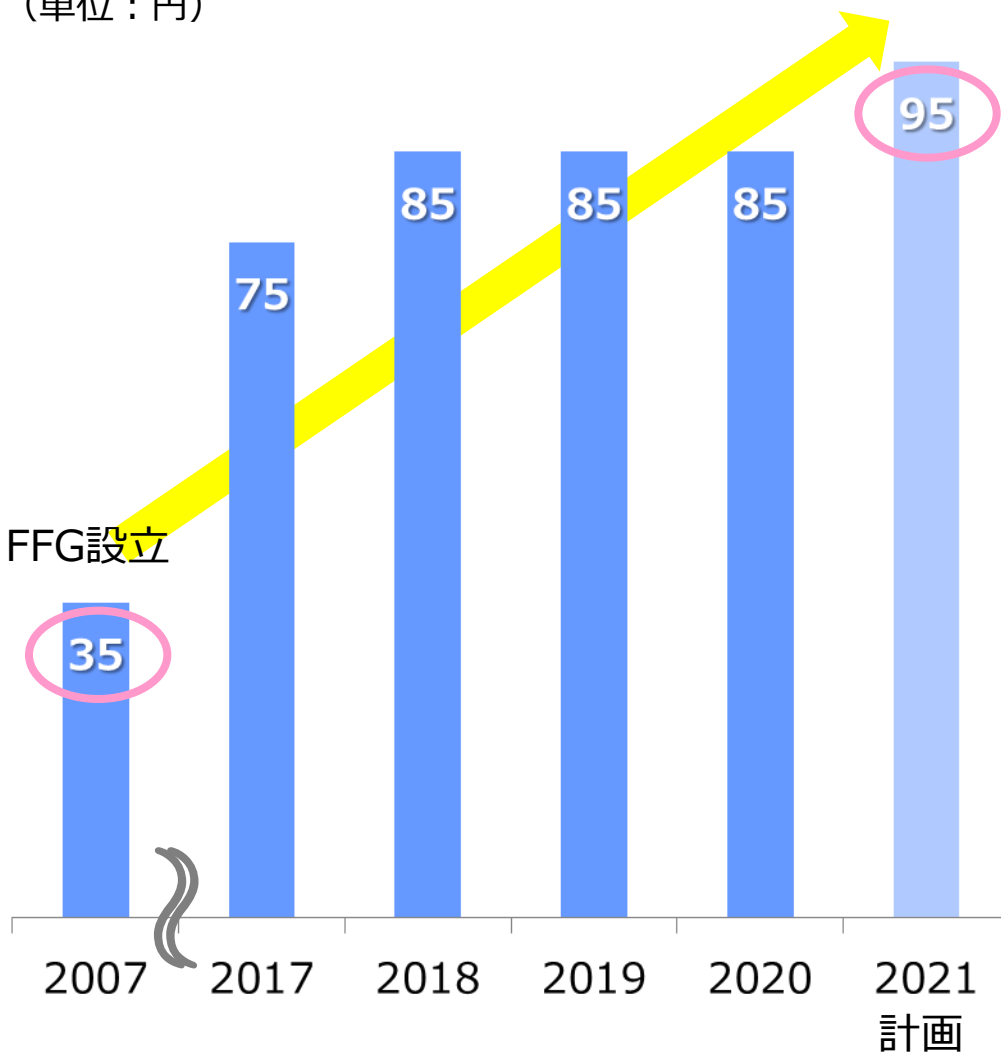
1株あたり年間配当95円は2021年5月14日公表時点の予想額

(※2) 日本取引所グループ「株式平均利回り（2021年8月 第一部加重平均利回り）」

(※3) 財務省「国債金利情報（2021年9月8日）」

〔一株あたり年間配当金の推移〕

(単位：円)



- FFG設立以来
一度も減配なし
- 安定的・持続的な
配当実績

※2018年10月実施の株式併合（5株→1株）を反映

前中計

第6次中計

次期中計以降

コア業務純益

839

連結当期純利益

516

- 統合コスト減少
- コストシナジー実現

789

- FL引当導入

797

446

▲68 ※

840

500

計画

2018

2019

2020

2021

2022

2023

2024

2025

2021年度連結当期純利益

計画500億円

次期中計以降も

持続的な成長を実現

※十八銀行経営統合に伴う負ののれん発生益を除く

株主優待制度（以下6つのメニューから1つ選択）

FFG証券コース

- FFG証券での株式売買・投資信託購入にかかる手数料の累計額(税抜)を全額キャッシュバック（上限5万円）

- 新たに証券口座の開設、または他社からの上場株式等（※）を移管いただくと3千円をプレゼント

※上場株式等には国内上場株式、公募投資信託、国債、地方債、公募公社債等を含む。国内上場外国株式は対象外

定期預金 金利上乘せコース

【円定期預金】（預入期間6ヶ月、限度額300万円）

- お預入日の店頭表示金利に年0.30%上乘せ

【外貨定期預金】（預入期間6ヶ月、限度額3万米ドル）

- お預入日の店頭表示金利に年1.00%上乘せ

外貨両替コース

- 外貨両替手数料を50%割引（両替金額の上限100万円）

キャッシュレス 決済コース

- my bank+の会員登録がお済みの方にarecore、〈18〉ICキャッシュ&クレジットカード、Debit+、YOKA!Pay、ご利用金額10%相当のmycoinをプレゼント（上限1万円相当のmycoin）

mycoin プレゼントコース

- my bank+の会員登録がお済みの方に1千円相当のmycoinをプレゼント

投資信託コース

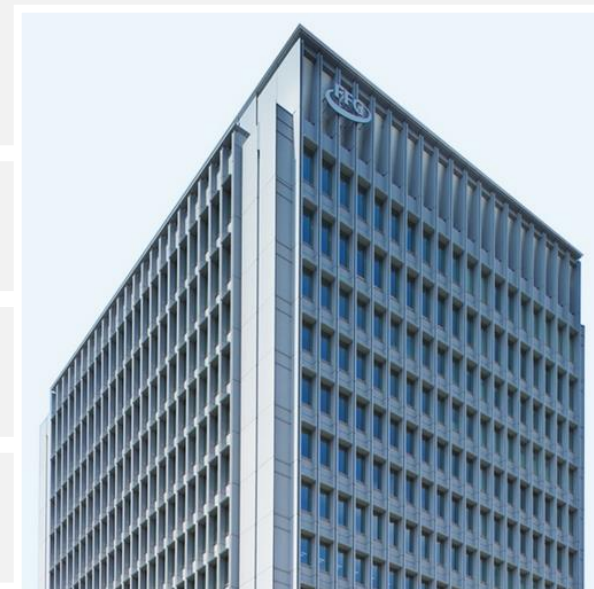
- 新たに投資信託口座を開設いただくと3千円をプレゼント
- 投資信託購入手数料累計額（税抜）を全額キャッシュバック（上限5万円）

毎年3月31日現在において、当社株主名簿に記載された200株以上の普通株式を保有されている株主さまのうち、1年以上継続（※）して保有されている株主さまを対象といたします。
※毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上掲載された株主さまといたします。

2. F F Gの概要

- 九州全域にネットワークを持つ広域展開型地域金融グループ

商 号	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（略称：FFG）
子 銀 行	福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・みんなの銀行
上 場	東京証券取引所 第一部・福岡証券取引所 証券コード：8354
設 立	2007年4月2日
代 表 者	取締役会長兼社長 柴戸 隆成
従 業 員	8,103人（2021.3末）
時 価 総 額	4,006億円※（日経225・JPX日経400採用銘柄）



※2021/9/8終値

 福岡銀行

創業：明治10年
(1877年)

 熊本銀行

創業：昭和4年
(1929年)

 親和銀行

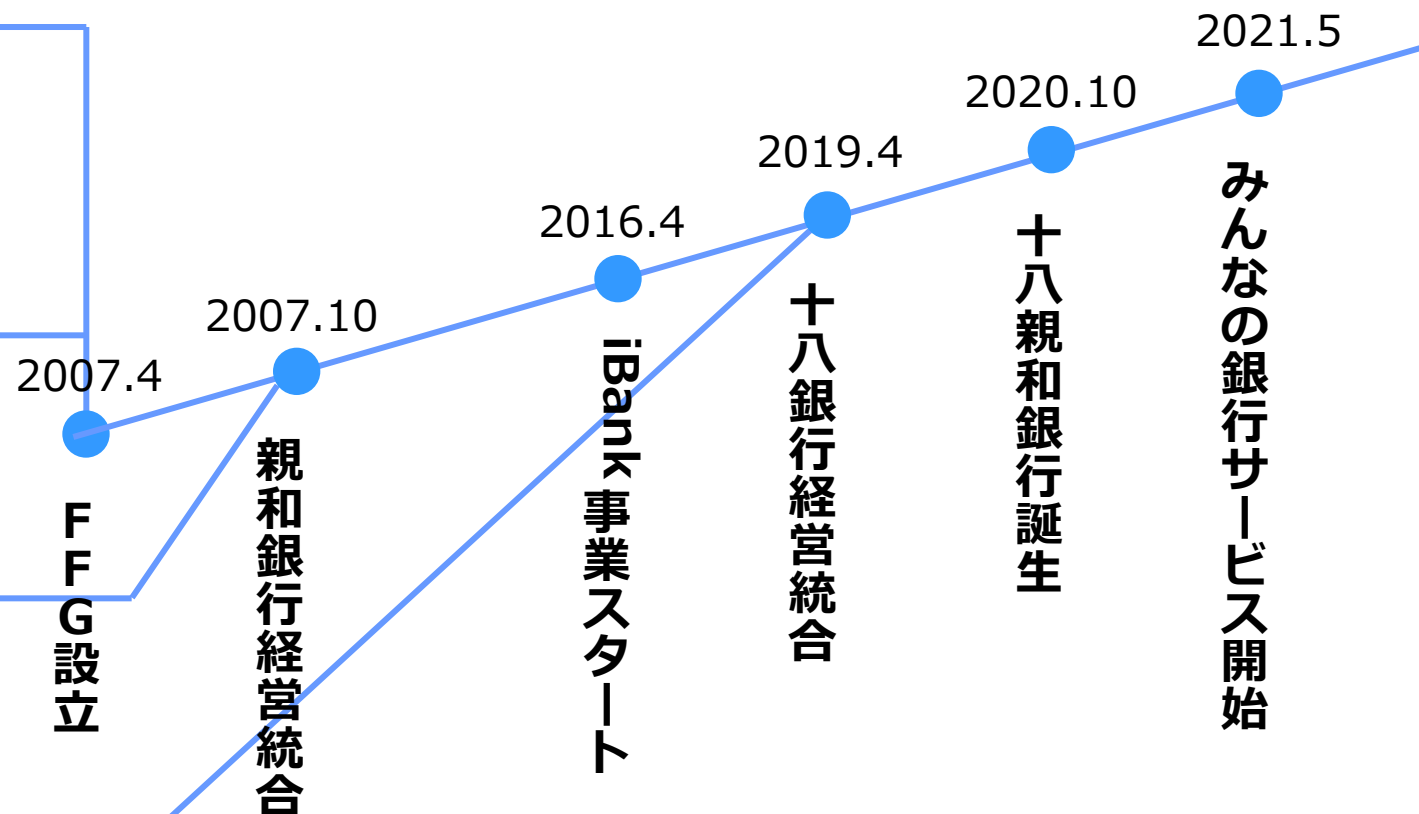
創業：明治12年
(1879年)

 十八銀行

創業：明治10年
(1877年)

助走・加速・飛躍的成長ステージ

新たな進化のステージ



 十八親和銀行

III みんなの銀行

- お客様のあらゆるニーズに応えられる総合金融グループ

FFG証券

証券業務

ふくぎん保証

ローン保証業務

FFGカード

クレジットカード

FFGビジネス

コンサルティング

ビジネスマッチング

十八総合リース

リース業務

みんなの銀行

 Minna no Ginko

デジタルバンク

FFGベンチャー

ビジネスパートナーズ

投融資業務

iBankマーケティング

 iBank

銀行代理業

ゼロバンク・ デザインファクトリー

システム研究開発

FFG成長投資

投資業務

サステナブルスケール

 Sustainable Scale

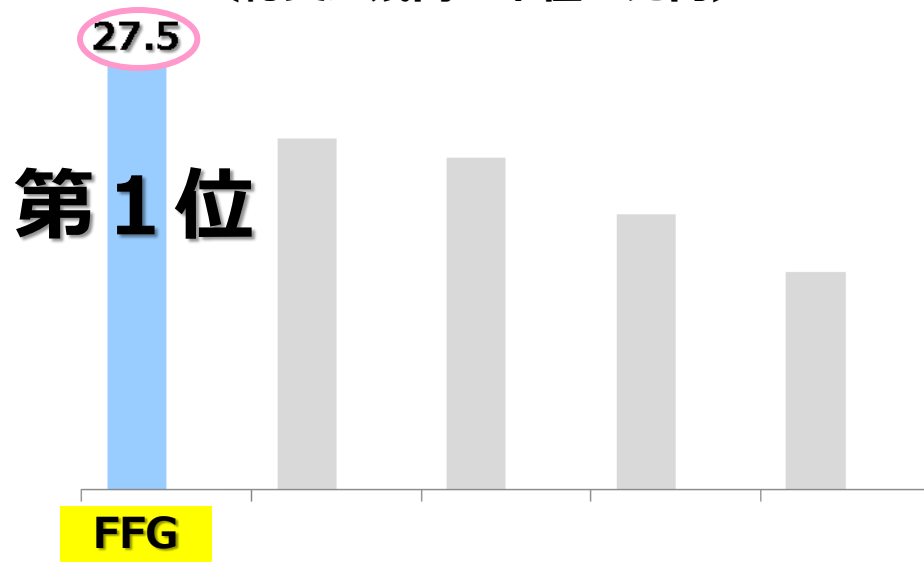
SDGs普及推進

他13社

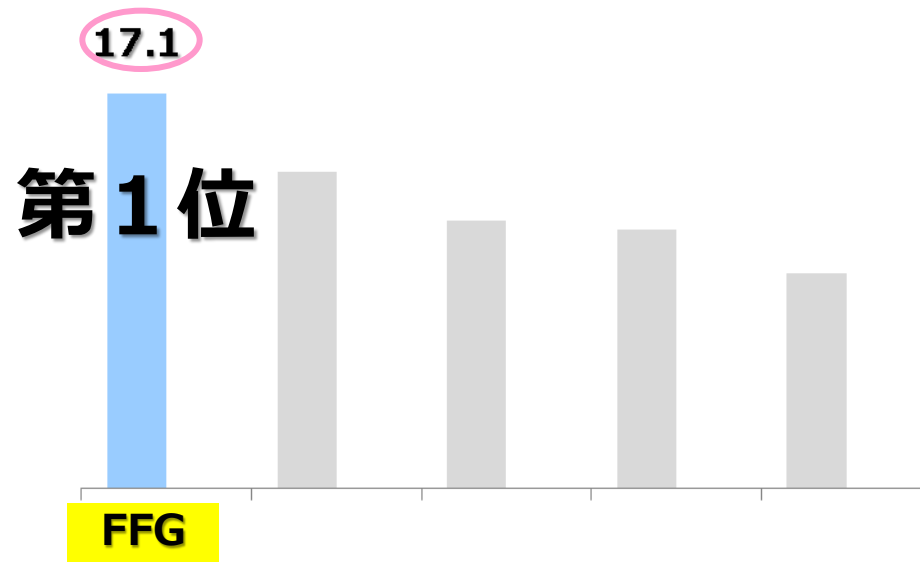
保険・債権回収ほか

3.F F Gの強み

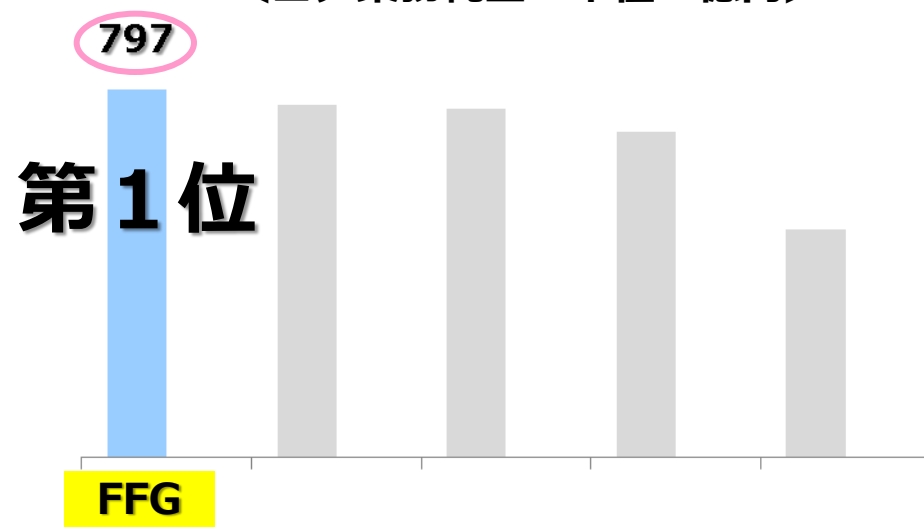
〔総資産残高 単位：兆円〕



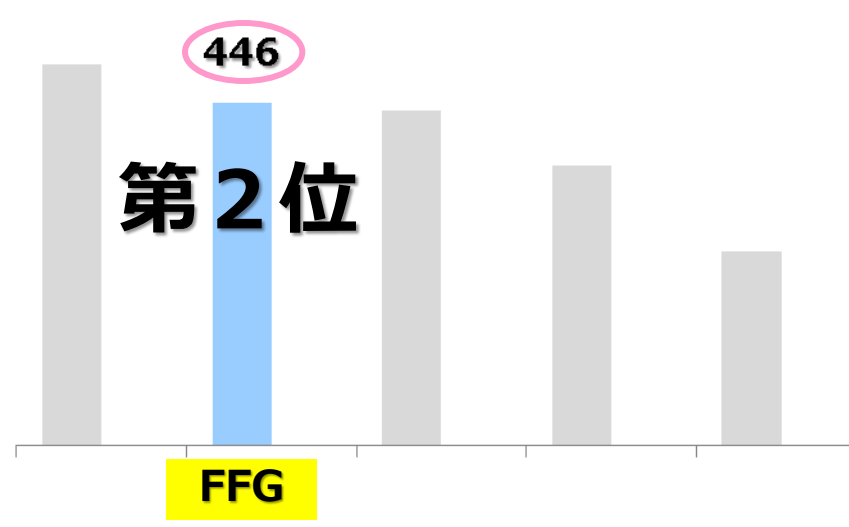
〔貸出金残高 単位：兆円〕



〔コア業務純益 単位：億円〕



〔連結当期純利益 単位：億円〕



〔全国メインバンク動向調査〕

順位	金融機関名	社数	全国シェア
1	三菱UFJ	9.8万社	6.7%
2	三井住友	7.9万社	5.4%
3	みずほ	6.3万社	4.3%
4	りそな	3.0万社	2.1%
5	北洋	2.4万社	1.7%
6	福岡	2.2万社	1.5%

参考	FFG 3行	4.0万社	2.8%
-----------	---------------	--------------	-------------

〔都道府県別シェア〕

福岡県	1位	福岡銀行	35.3%
熊本県	(2位)	熊本銀行	—
長崎県	1位	十八親和銀行	84.4%

- **福岡銀行全国 6 位**
(福岡県ではトップシェア)
- **グループ 3 行合算では**
全国 4 位の水準

出所：株式会社帝国データバンク
「全国メインバンク動向調査（2020年）」

FFGが目指す九州の未来
(持続可能な社会の実現)



- 全国の1割経済
- 自動車・半導体・農業
- アジアの玄関口

FFG独自の産業調査

×

**高度かつ多様な
ソリューション提供**

4.F F Gの成長戦略

第6次中期経営計画

■ 構造改革

- 業務プロセスの再構築
- 事業モデルの高度化
- DXの推進

■ 十八銀行との経営統合

● 業務改革

● 投信ビジネス確立

● みんなの銀行

● 十八親和銀行合併

2019年度 4月 十八銀行経営統合

2020年度 10月 親和銀行と十八銀行が合併し
十八親和銀行が誕生

1月 事務システム統合完了
十八親和銀行で新サービスがスタート

Wallet+

Debit+

Yoka!Pay

2021年度 5月 店舗統合（移転）開始
2022年3月までに全68ヶ店を統合予定

合併・事務システム統合・
店舗統合で生じた人員を活用し

地域活性化に貢献

- ✓ 地域企業への人財供給
- ✓ FFG成長分野への人員再配置

2024年度 **シナジー効果100億円（税前利益）**

〔長崎経済の活性化に向けた取組み〕

地域通貨事業MINAコインのサービス開始

- 南島原市限定で利用できる電子マネー
- ダウンロード数：1万7,200件
- 決済金額：310百万円

長崎MICE施設活用によるビジネス機会創出



地域企業のデジタル化支援

地域企業の間接業務のクラウド導入を中心に支援

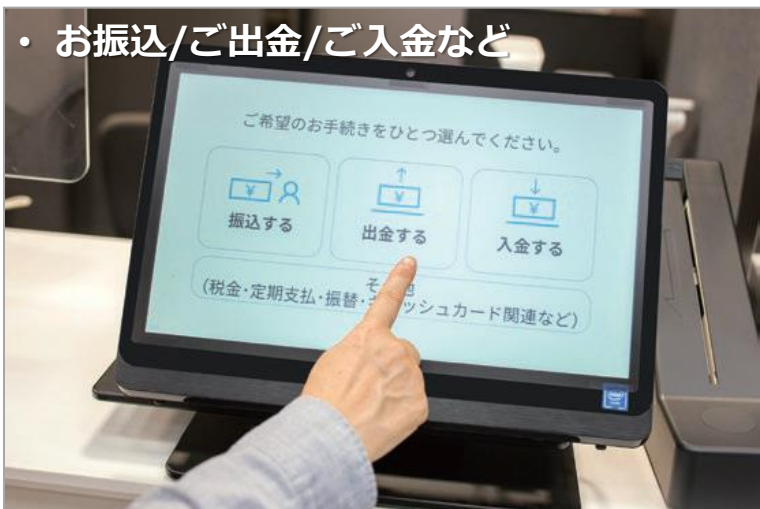
長崎で
先行実施

2年間の支援先
300 先超

福岡/熊本で展開予定
(2021年度)

〔ロビータブレット導入〕

- ・ お振込/ご出金/ご入金など

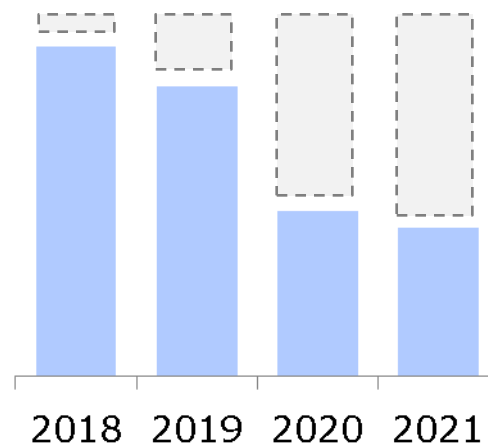


〔ローカウンタータブレット導入〕

- ・ 口座開設/住所変更/ローンのお申込など



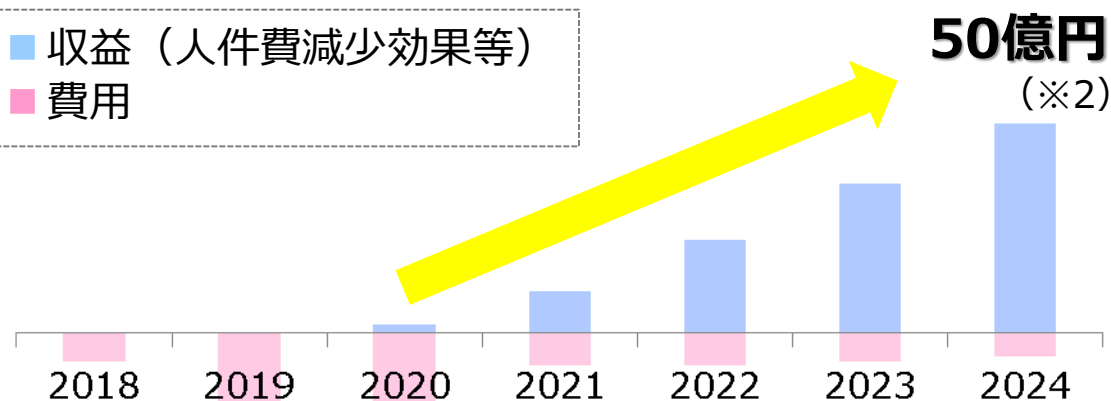
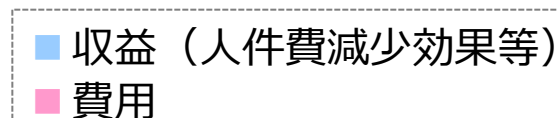
業務量の推移



2,000人分の業務量削減
(※1)

- ・ デジタルや投資銀行分野への再配置
- ・ 採用調整による人員減少(自然減)

投資効果



(※1,2) 十八銀行統合効果を一部含む

営業スタイルの変革

□ ポートフォリオ型営業スタイルの確立

- ✓ 短期の相場変動に左右されない長期視点での資産形成サービスを展開

□ 「投信のパレット」サービスの展開

- ✓ 投資信託の専門担当者がお客さま一人一人に適した提案で、“長期にわたる資産づくり”をサポート



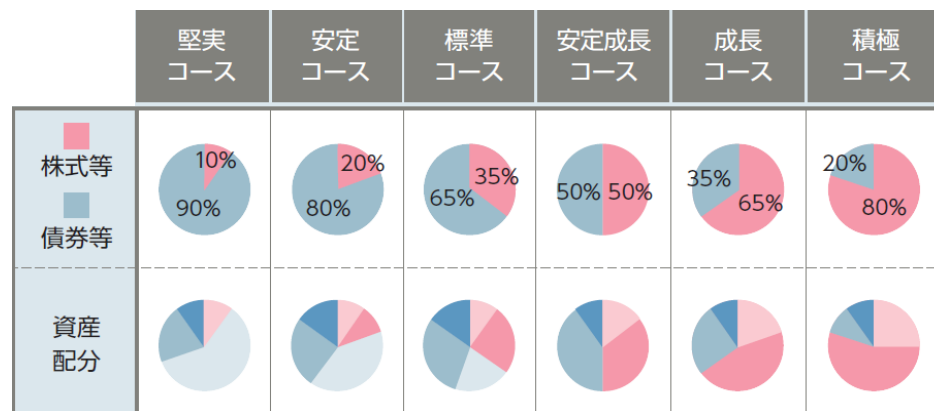
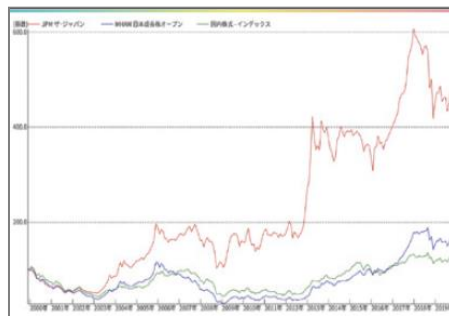
FFG独自のシステム

- 国内約4,800本の投資信託のほぼすべてを公平中立に評価・分析
- お客さまと将来の目標リターンを共有
- 最適な投資信託の組合せを国際分散投資で提案

5段階評価

投資信託	リスク	リターン	流動性	分散性	安定性	成長性	国際分散	資産形成	総合評価
1. 日本株式	3	2	5	5	1	2	5	5	5
2. 日本債券	4	3	5	4	5	4	5	5	5
3. 日本債券	5	5	3	5	1	2	4	5	5
4. 日本債券	5	5	5	4	2	4	2	5	5
5. 日本債券	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6. 日本債券	5	5	5	5	5	5	5	5	5
7. 日本債券	5	5	5	5	5	5	5	5	5
8. 日本債券	5	5	5	5	5	5	5	5	5
9. 日本債券	5	5	5	5	5	5	5	5	5
10. 日本債券	5	5	5	5	5	5	5	5	5

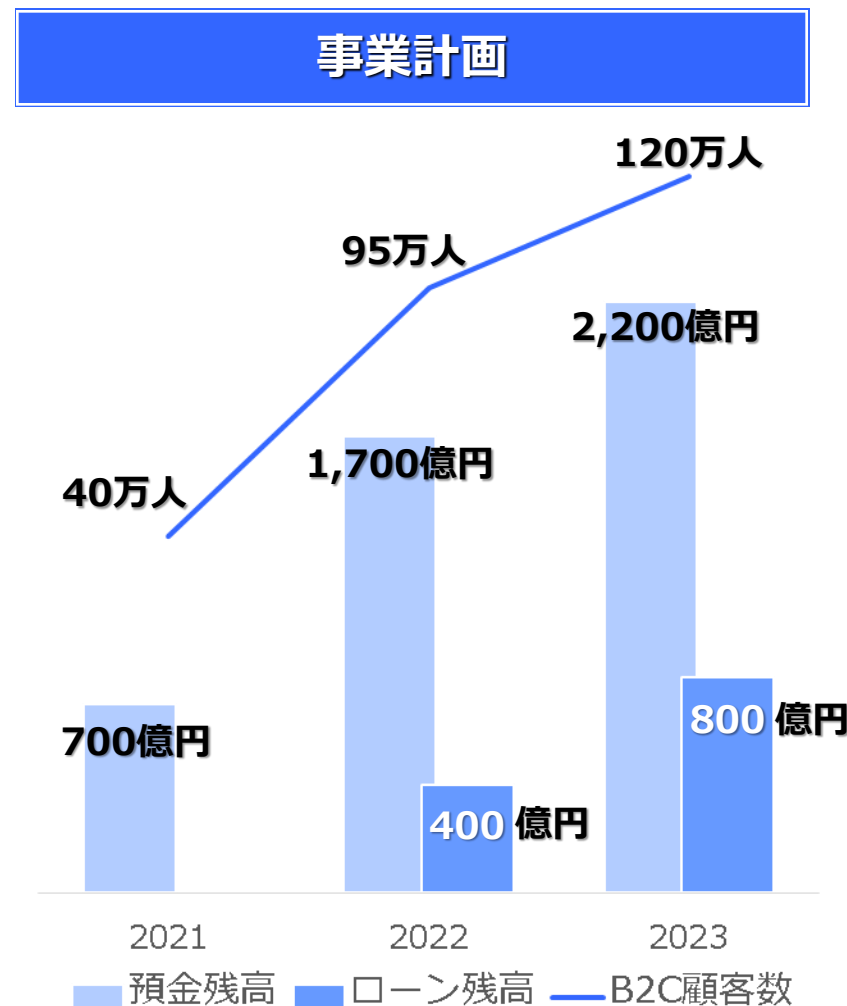
比較チャート



- 2020/2から福岡銀行で取扱い開始、2021/4から熊本銀行・十八親和銀行へ展開
- 定額換金受取サービス、在宅オンラインサービス等、機能やサービスを拡充

- 2021年5月、国内初のデジタルバンク「みんなの銀行」がサービス提供開始
- 「Red Dot Design Award」ブランド・オブ・ザ・イヤー受賞（日本初・金融機関では世界初）

組織	あなたのいちばんに。 FFG ふくおかフィナンシャルグループ	
	福岡銀行 熊本銀行 十八親和銀行	みんなの銀行 ZERO BANK DESIGN FACTORY
	九州がメイン	全国 (地理的制約を受けない)
	全層の顧客 (法人・個人)	デジタルネイティブ世代 (当初は個人がメイン)
エリア	九州がメイン	全国 (地理的制約を受けない)
ターゲット	全層の顧客 (法人・個人)	デジタルネイティブ世代 (当初は個人がメイン)
チャネル	全チャネル	スマホ専業 (来店不要・24/365)



口座開設

- ✓ 24時間365日いつでも口座開設
- ✓ 手続きにお客さまからの書類の郵送は一切不要(スマホ完結)
- ✓ ビデオ通話による本人確認
- ✓ 開設対象者は15歳以上の個人



Box

- ✓ 普通預金と同時開設の貯蓄預金
- ✓ 最大20個の「ボックス」で、指先ひとつで目的別管理 (利用料無料)
- ✓ 日次・週次・月次・年次周期での柔軟な自動積立設定が可能



Wallet

- ✓ お財布感覚で使える普通預金
- ✓ 全てのサービスがカードレスでスマートフォン完結
- ✓ セブン銀行ATMでスマホ入出金
- ✓ QRコードを利用した簡易振込



Record

- ✓ マネーフォワード社と協働により開発した資産管理機能
- ✓ 1,300以上の金融機関等と連携が可能で、ハッシュタグやグラフにより他行資産も含めた一元管理ができる



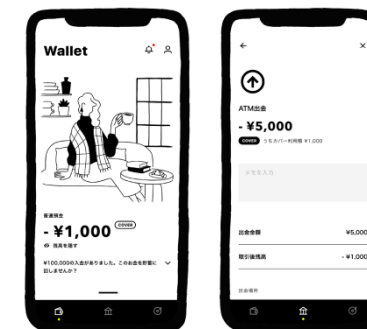
Debit Card

- ✓ 口座開設と同時に発行されるバーチャルデビットカード (年会費無料)
- ✓ カードレスだから口座開設後すぐに決済可能 (JCBブランド)
- ✓ オンライン決済/スマホ決済



Cover

- ✓ サブスク型のプレミアムサービスの追加オプション(無料)
- ✓ 最大5万円の当座貸越枠
- ✓ 借入利率は0%、利息負担なし
- ✓ 月々の定額返済不要 (あるとき払い)



5.トピック

サステナビリティ方針と重点項目

| FFGのサステナビリティ方針

- グループ経営理念に基づく事業活動への取組みを通じて「地域経済発展への貢献」と「FFG企業価値向上」の好循環サイクルを創出し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります

| 7つの重点項目

地域経済の
健全な成長

産業発展と
金融イノベーション

少子高齢化
への対応

環境への配慮

豊かな地域
社会の実現

新しい働き方
の推進

ガバナンス
の強化

SDGs支援子会社の設立

| サステナブルスケール Sustainable Scale

使命・役割

- 地域企業にSDGsの意義・有用性を浸透させ、持続的成長に繋がる活動を後押しすることで、持続可能な地域社会の実現に寄与すること

具体的な取組

1. 「SDGs取組の重要性」を発信
2. 会社の理念(存在意義)や事業内容をSDGs起点で棚卸し紐付け
3. SDGsの取組施策を評価
4. SDGsの取組を発信し、周知

**サステナブル≡SDGs目線での企業価値評価
～ SDGs起点での“新しい尺度”の開発**

①金融機能と非金融機能を融合させた お金管理アプリ『Wallet+』

〔金融〕

残高照会

資産運用

ローン

収支管理

目的預金

〔非金融〕

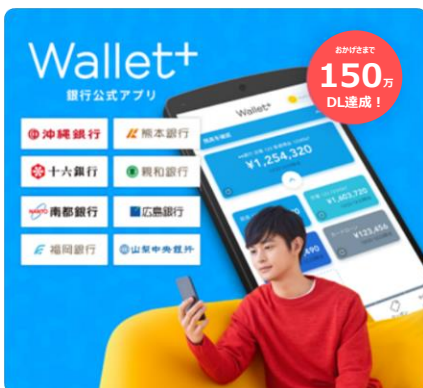
クーポン

ポイントサービス

情報コンテンツ



Bank



- 連携9行・150万ダウンロード達成
- 貯蓄預金残高は400億円を突破

②地域総合商社事業



エンニチ en-nichi

あなたと作り手を結ぶ、地域特化型オンラインストア

- ✓ 地域共創型オンラインストア
- ✓ クラウドファンディング
- ✓ デザインサポート

販路拡大



産地横断型の
オンライン陶器市

(地域) ブランディング
価値向上



商品開発
テストマーケ



広島伝統的工芸品
"熊野筆"

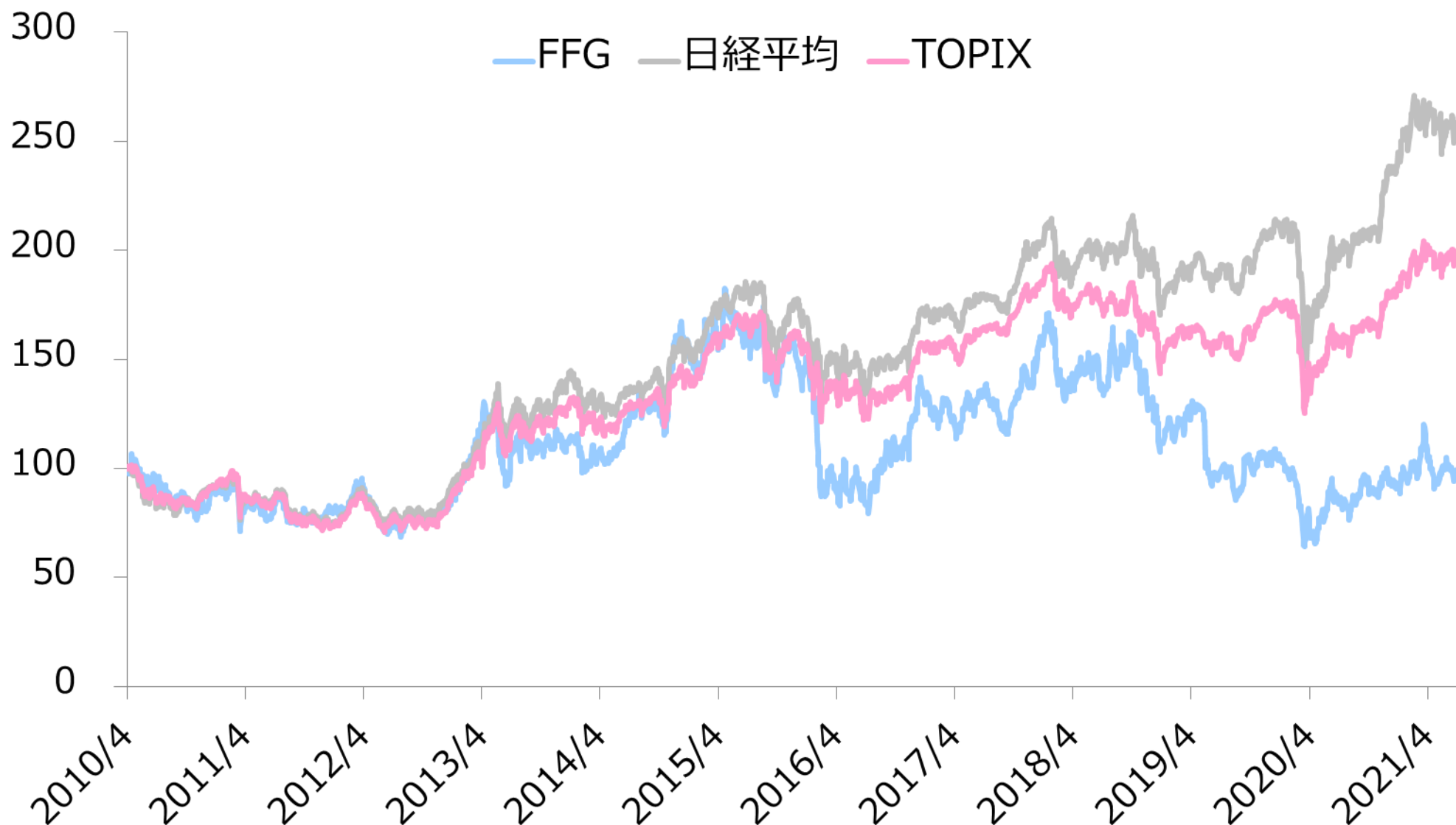
③広告事業

デジタルマーケティング機能の強化と活用

- 地域商社と連携した地場企業へのコンサル展開
- FFGグループ全体でのマーケティング機能活用

參考資料

〔2010年4月1日=100〕



【参考】2020年度 決算サマリー

損益（3行単体合算）

(億円)

【2020年11月公表比】	3行単体合算		福岡銀行（単体）		熊本銀行（単体）		十八親和銀行（単体）	
	FY20 実績	前年比	FY20 実績	前年比	FY20 実績	前年比	FY20 実績	前年比
業務粗利益	2,025	13	1,339	26	189	2	498	▲ 15
資金利益	1,790	5	1,151	16	178	▲ 0	460	▲ 11
国内部門	1,674	▲ 15	1,059	6	178	0	437	▲ 22
国際部門	116	20	93	10	0	▲ 0	23	10
非資金利益	236	8	188	10	11	2	37	▲ 4
役務等利益	205	▲ 5	157	▲ 4	10	2	38	▲ 3
特定・その他利益（債券除く）	26	1	26	2	1	▲ 0	▲ 1	▲ 2
債券関係損益	5	12	5	11	0	0	0	0
経費（△）	1,224	▲ 7	684	6	133	▲ 3	407	▲ 10
実質業務純益	802	20	655	20	56	5	90	▲ 5
一般貸倒引当金（△）	▲ 122	▲ 722	▲ 100	▲ 491	0	▲ 58	0	▲ 151
業務純益	924	742	755	511	56	63	90	147
コア業務純益	【+32】 797	8	651	8	56	5	90	▲ 5
臨時損益	▲ 187	▲ 90	▲ 99	▲ 92	3	28	▲ 70	▲ 3
経常利益	736	652	656	418	59	90	21	143
特別損益	▲ 18	93	▲ 2	1	▲ 2	▲ 2	▲ 14	94
税引前純利益	719	745	655	419	57	89	7	237
法人税等（△）	145	198	160	115	11	22	▲ 25	61
当期純利益	【▲21】 573	547	495	304	47	66	31	176
信用コスト（△）	【▲45】 3	▲ 611	24	▲ 366	▲ 9	▲ 77	▲ 12	▲ 169

損益（FFG連結）

【2020年11月公表比】	FY20 実績	前年比
業務粗利益	2,172	+25
実質業務純益	688	+20
コア業務純益	682	+8
経常利益	【▲6】 604	+657
連結当期純利益（※）	【+6】 446	▲660

連結調整

当期純利益（3行単体合算）	573
FFG単体	▲104
みんなの銀行関連	▲50
子会社損益	44
有価証券調整等	▲18
負ののれん	-
FFG連結当期純利益	446

Point 1 コア業務純益は797億円

- ▶ 前年比+8億円
- － 資金利益増加（資金繰り支援など中小企業残高積み上げ等）および経費減少（コロナ影響等）により、前年比プラス

Point 2 信用コストは3億円の繰入れ

- ▶ 前年要因（フォワードルッキング引当・コロナ予防的引当・統合関連）の剥落等により前年比▲611億円

Point 3 当期純利益は573億円

- ▶ 前年比+547億円
- － 上記信用コストに加え、特別損益増加（十八親和店舗減損剥落）等により、当期純利益は573億円

Point 4 連結当期純利益は446億円

- ▶ 前年比▲660億円
- － 単体純利益+547億円、負ののれん発生益の剥落▲1,174億円により、前年比▲660億円

※親会社株主に帰属する当期純利益。前年比は、FFG連結(3行)+十八銀行連結との比較。

【参考】2021年度 業績予想

損益（3行単体合算）

（億円）

	3行単体合算		福岡銀行（単体）		熊本銀行（単体）		十八親和銀行（単体）	
	通期計画	前年比	通期計画	前年比	通期計画	前年比	通期計画	前年比
業務粗利益	2,060	34	1,388	49	188	▲ 0	483	▲ 14
資金利益	1,775	▲ 15	1,166	15	177	▲ 1	431	▲ 29
国内部門	1,640	▲ 33	1,053	▲ 6	177	▲ 1	410	▲ 27
国際部門	135	19	113	21	0	0	21	▲ 2
非資金利益	285	49	222	34	11	1	52	14
役務等利益	238	33	178	21	10	0	50	12
特定・その他利益（債券除く）	17	▲ 9	14	▲ 12	1	0	2	3
債券関係損益	30	25	30	25	1	0	0	▲ 0
経費（△）	▲ 1,189	34	▲ 674	10	▲ 134	▲ 1	▲ 381	26
実質業務純益	870	69	714	59	54	▲ 2	102	11
コア業務純益	840	44	685	34	54	▲ 2	102	12
経常利益	843	107	731	74	44	▲ 16	69	49
当期純利益	611	38	524	29	33	▲ 14	54	22
信用コスト（△）	▲ 58	▲ 55	▲ 35	▲ 11	▲ 8	▲ 17	▲ 15	▲ 27

損益（FFG連結）

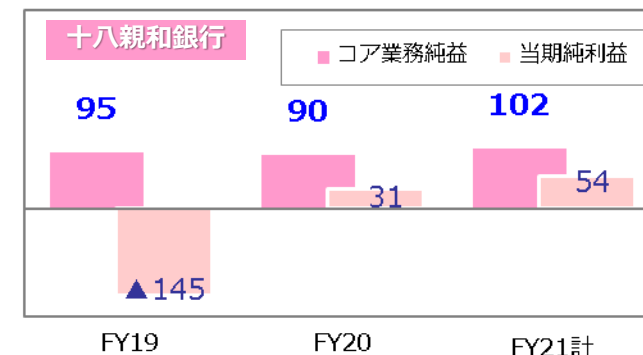
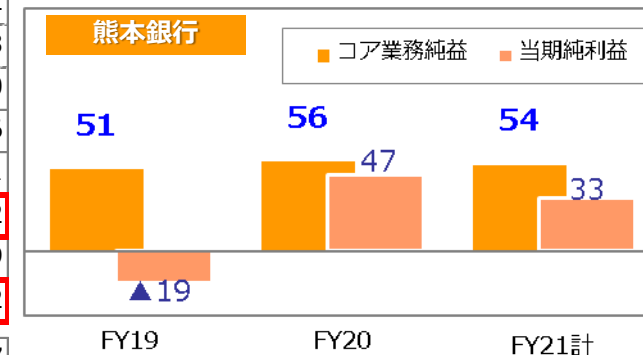
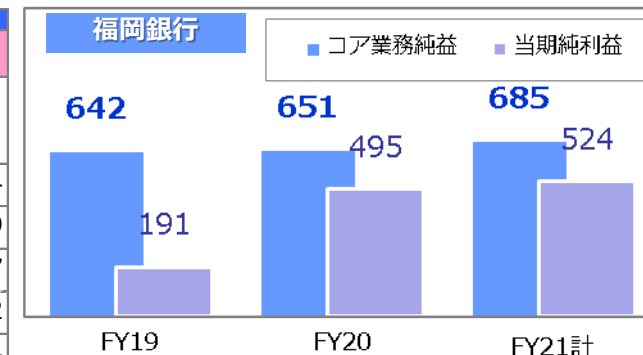
	通期計画	前年比
業務粗利益	2,214	+42
実質業務純益	778	+90
コア業務純益	748	+66
経常利益	721	+117
連結当期純利益（※）	500	+54

連結調整

当期純利益（3行単体合算）	611
FFG単体	▲ 85
みんなの銀行関連	▲ 57
子会社損益	43
有価証券調整等	▲ 13
FFG連結当期純利益	500

※親会社株主に帰属する当期純利益

【銀行別】 損益推移（億円）



※FY19は単体合算ベース

【照会先】

株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ

経営企画部 広報グループ

- TEL : 092 - 723 - 2255
- E-mail : ffg-ir@fukuoka-fg.com
- H P : <https://www.fukuoka-fg.com>

- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載された事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料に記述されている将来の業績予想等につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。
- なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。